

美術

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
9	開隆堂出版	開隆堂◆	美術 009-72・009-82	A4 変形 200	令和6年
38	光村図書出版	光 村◆	美術 038-72・038-73・038-82	A4変型 <small>※038-73はA4</small> 208	
116	日本文教出版	日 文◆	美術 116-72・116-83・116-84	A4 変形 198	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

中学部 美術(視覚障害特別支援学校)

発行者		開隆堂	光村	日文
内容	視覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚以外の感覚(触覚や全身の皮膚感覚、音を聞き分けたり等)を活用して表現するもの。	13箇所 ①2・3年「イメージを形にして」では、自分の表現したい思いや気持ちなどを粘土などで表現する活動があり、触覚等を活用して表現することができる。(P54)	16箇所 ①1年「自然の形や色を見つめて」では、石を触って温度や質感を確かめる活動があり、触覚等を活用して表現することができる。(P18-19)	23箇所 ①2・3年上「つくる・使う・材料を味わう工芸」では、木や金属、粘土の手触りや重さを観察し、つくるものの形や加工方法を考える活動があり、触覚等を活用して取り組むことができる。(P44-45)
	視覚障害への配慮を要する内容等について ①絵画等の鑑賞などを通して表現する活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。 ②安全への配慮から、道具等の取扱いに困難が想定されるもの。	39箇所 ①1年「構成の美しさ」では、身近なものから美しい形や色彩の並び方をしているものを探す活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P36) ②1年「ずっと木といっしょに」では、電動糸のこぎりで木を加工する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P47)	38箇所 ②2・3年「心の中の風景を表す」では、写真を見て心に残っている風景を思い出し表現する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P9) ②資料「金属でつくる」では、金切ばさみやラジオペンチを用いて、金属を加工する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P19)	37箇所 ①1年「文字が生み出すイメージ」では、文字が意味するものの形や色彩、イメージに注目した絵文字をつくる活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P40-41) ②2・3年上「金属でつくる」では、高温にした金属を溶かして形を作る活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P57)
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他 ①文字・図版が鮮明であるもの。	①2・3年「印象派の表現の広がり」では、印象派の作品を折込見開きページに大きく掲載している。(P28-31)	①2・3年「『ゲルニカ』を鑑賞しよう」では、折込見開きページに大きく作品を掲載している。(P61-64)	①2・3年下「あの日を忘れない」では、左ページに示した作品の一部を右ページに原寸大で示し、描かれているものや表現技法が確認できるようにしている。(P24-25)
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

中学部 美術(聴覚障害特別支援学校)

	発行者	開隆堂	光村	日文
内容	聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①色や形の構成など視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。	15箇所 ①2・3年「ひと目で伝える表示」では、色や形を工夫して、ピクトグラムのデザインを考える活動があり、視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できる。(P66-67)	19箇所 ①2・3年「あかりがつくる空間」では、光から受ける印象を考えながらあかりをつくる活動があり、視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できる。(P84-85)	23箇所 ①2・3年上「思いが飛び出すカード」では、形や色彩、構成に着目して、飛び出すカードを制作する活動があり、視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できる。(P36-37)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	7箇所 ①1年「ずっと木といっしょに」では、音が出る木のおもちゃを工夫してつくる活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P47)	3箇所 ①1年「響き合う形と色」では、曲を聞いたイメージで絵を描く活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P30-31)	4箇所 ①2・3年下「芸術としての漫画表現」では、漫画で、絵画的に表現された擬声語の効果を考える活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P15)
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①2・3年「写して見つけて」では、ドライポイントやコラグラフの技法の手順を写真で示している。(P36)	①1年「心ひかれるこの風景」では、身近な風景を様々な位置や角度から見て構図を考えることについて、写真や補助線で説明している。(P25)	①1年「水墨画の表現」では、墨の濃淡やにじみ方の違い、水墨画の技法を、写真で示している。(P64)
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

中学部 美術(肢体不自由・病弱特別支援学校)

	発行者	開隆堂	光村	日文
内容	肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、実際に表現できる内容が示されているもの。	30箇所 ①2・3年「伝えたいメッセージ」では、タブレット端末を用いて写真を撮ったり編集したりする活動があり、上肢の操作を伴うものであっても、表現することができる。(P72-75)	31箇所 ①2・3年「メッセージを伝える」では、写真をコラージュして表現する活動があり、上肢の操作を伴うものであっても、表現することができる。(P70-73)	32箇所 ①1年「材料に命を吹き込む」では、廃材など身近で手に入りやすいもので作品をつくる活動があり、上肢の操作を伴うものであっても、表現することができる。(P20-21)
	肢体不自由・病弱の配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、道具等を扱う学習活動に困難が想定されるもの。 ②アレルギー疾患等に関わる配慮が必要なもの。	6箇所 ①1年「ずっと木といっしょに」では、電動糸のこぎりで木を切り出す活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P47) ②該当なし	6箇所 ①1年「木と親しむ暮らし」では、小刀で木を削る活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P62-63) ②該当なし	8箇所 ①2・3年上「人物をつくる」では、針金を折り曲げたり組み合わせたりして心棒をつくる活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P55) ②該当なし
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他 ①体験の不足等を補えるように、図版が鮮明で理解がしやすいもの。	①1年「江戸の美術の面白さ」では、江戸時代の美術作品の写真を、解説とともに折込見開きページで大きく示している。(P26-31)	①資料「自然の中の形・色・光」では、自然の中にある形や色、光を、解説とともに写真で示している。(P26-27)	①2・3年下「さまざまなアートに触れよう」では、芸術祭や作品展などの様子を写真で示している。(P48-51)
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり